

平成24年度 第2回 倫理審査委員会 会議の記録の概要

開催日時：

平成24年 6月26日（火） 16:55～17:23

開催場所：

独立行政法人国立病院機構菊池病院 会議室

出席委員名：

桂木正一、木村武実、末松直幸、野口利幸、内村美子、松崎博充、益田博文

審議事項：

申請番号 2403

【課題名】 手の触刺激からの関係性の構築

【申請者】 鶴田 美奈子（菊池病院 療育指導室 保育士）

【研究の概要】 個別で行っている動作法終了後の手遊びや、療育棟の行き帰り時と散歩の手繋ぎから、対象者との関係性の構築を行い、その関わりの中で、対象者にどのような変化が見られたか検証すると共に、手への触刺激の意義を考察する。

【判定】 承認

申請番号 2404

【課題名】 アロマセラピーによる認知症高齢者のBPSDの変動
～スイートオレンジ精油～

【申請者】 石山 ひろみ（菊池病院 看護師長）

【研究の概要】 昨年、BPSDを伴う認知症患者に不安軽減作用のあるラベンダーアロマセラピーを実施し、非薬物療法として有用であるという結果が得られた。先行研究ではラベンダーとオレンジオイルの併用による鎮静作用により副交感神経を優位に働かせるという報告があるが、認知症患者にスイートオレンジ単品を使用した報告はない。そこで

今回は、スイートオレンジアロマが心に与える効果・効能は、落ち込んだ気持ちをやわらげ、緊張感をほぐし不安を改善することと言われており、不安が強い認知症患者においての効果を考察する。

【判定】承認

申請番号 2405

【課題名】病気を否定する統合失調症患者に履歴書作成を通じた自己洞察を試みて

【申請者】興柁 嘉彰（菊池病院 看護師長）

【研究の概要】医療者からの症状や病気についての説明に過剰に拒絶反応を示す（病識の欠如）統合失調症患者が履歴書作成を通じてこれまでの生活史を振り返り、自分自身についての理解を深める（自己洞察）ことができるかを検証する。

【判定】条件付承認